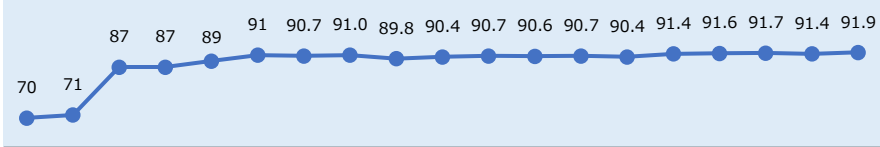
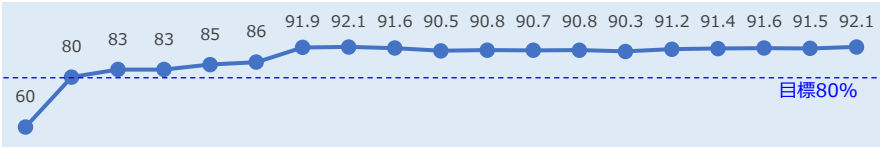

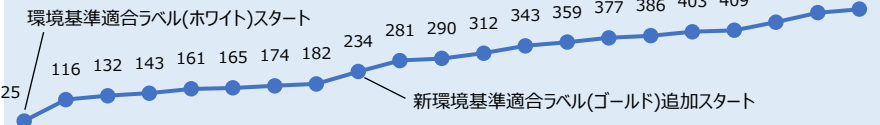
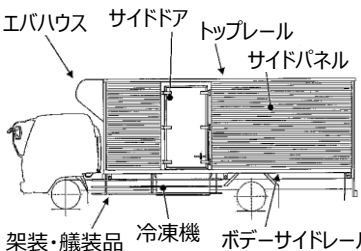
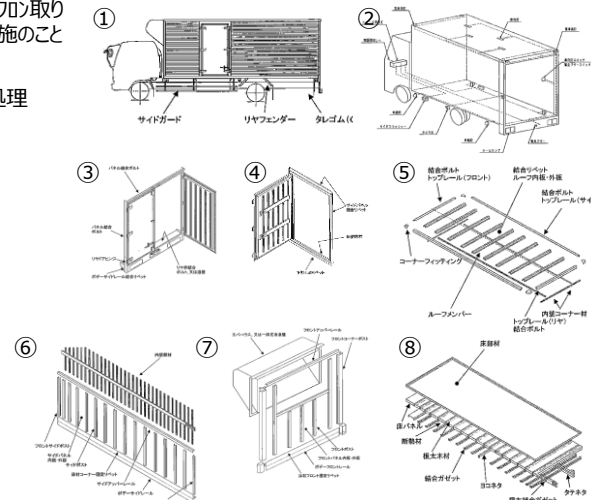

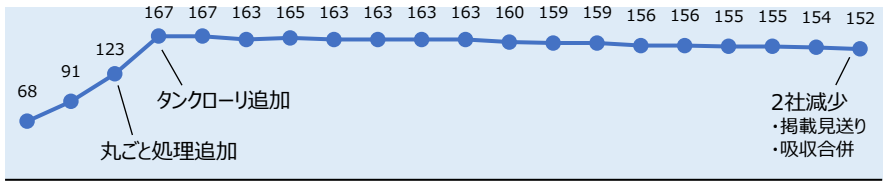


商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況について

本取組みは両工業会共同で2002年11月以降実施してきたものである。活動概要は以下のとおり

1. リサイクル設計の推進 : (1) 車体メーカー各社にて製品展開拡大中
 (2) 易解体性向上のため、設計事例の情報収集と展開を行い、解体マニュアルの記載内容見直しを推進
 (3) 環境基準適合ラベルの貼付目標80%達成済み (2023年度92.1%)
2. 重金属4物質の使用削減 : 鉛・六価クロム・水銀・カドミウムについて、目標を達成中
3. リサイクル・適正処理の推進 : 協力事業者制度を継続中。LiB情報も追加し情報充実
4. 情報提供、啓発活動の推進 : 協力事業者制度に参加の事業者リストを車工会HPに掲載継続
 商用車の解体作業の見学会を実施し、意見交換を実施

自主取組みの内容	進捗状況																																																																																
<p>1. リサイクル設計の推進 (1) 易解体性向上および適正処理の推進 目標：易解体性バンの試作、製品展開</p> <p>(2) 環境基準適合ラベルの設定 目標：車工会会員生産車の80%に貼付</p> <p>【環境基準適合ラベルの要件】 ① 3R判断基準ガイドラインの作成 ② 解体マニュアルの作成・公開 ③ 製造業者名の表示 ④ 樹脂部品材料名の表示</p> <p>【新環境基準適合ラベルの要件】 環境基準適合ラベルの要件に以下を追加 ⑤ リサイクル可能率が95%以上 ⑥ 重金属4物質のフリー宣言 ⑦ 環境取得認証工場生産</p>	<p>① 各社にて各種易解体性バンの開発、製品化を展開中 ② 易解体性バンは2023年度 車工会会員バン生産の91.9%(59,998台) ③ 解体業者団体と連携して平ボデー、バン型車等の解体作業見学会を実施。 解体時間短縮のための課題を抽出、製品に反映し架装メーカー各社にフィードバック (車工会会員の生産バンに占める易解体性バンの比率(%))</p>  <table border="1"> <caption>易解体性バンの比率 (%)</caption> <tr><th>年度</th><td>'05</td><td>'06</td><td>'07</td><td>'08</td><td>'09</td><td>'10</td><td>'11</td><td>'12</td><td>'13</td><td>'14</td><td>'15</td><td>'16</td><td>'17</td><td>'18</td><td>'19</td><td>'20</td><td>'21</td><td>'22</td><td>'23</td></tr> <tr><th>比率 (%)</th><td>70</td><td>71</td><td>87</td><td>87</td><td>89</td><td>91</td><td>90.7</td><td>91.0</td><td>89.8</td><td>90.4</td><td>90.7</td><td>90.6</td><td>90.7</td><td>90.4</td><td>91.4</td><td>91.6</td><td>91.7</td><td>91.4</td><td>91.9</td></tr> </table> <p>2004年3月：環境基準適合ラベル(ホワイト)の要件を設定 2011年3月：新環境基準適合ラベル(ゴールド)の要件を設定 2006年度以降は目標80%以上を達成中 (環境基準適合ラベル貼付率(%))</p>  <table border="1"> <caption>環境基準適合ラベル貼付率 (%)</caption> <tr><th>年度</th><td>'05</td><td>'06</td><td>'07</td><td>'08</td><td>'09</td><td>'10</td><td>'11</td><td>'12</td><td>'13</td><td>'14</td><td>'15</td><td>'16</td><td>'17</td><td>'18</td><td>'19</td><td>'20</td><td>'21</td><td>'22</td><td>'23</td></tr> <tr><th>貼付率 (%)</th><td>60</td><td>80</td><td>83</td><td>83</td><td>85</td><td>86</td><td>91.9</td><td>92.1</td><td>91.6</td><td>90.5</td><td>90.8</td><td>90.7</td><td>90.8</td><td>90.3</td><td>91.2</td><td>91.4</td><td>91.6</td><td>91.5</td><td>92.1</td></tr> </table> <p>＝バン型車の表示例＝</p>  <p>※環境基準適合ラベルは環境省HP「環境ラベル等データベース」へ登録・掲載中(2016年～) https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/a04_48.html</p>	年度	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	比率 (%)	70	71	87	87	89	91	90.7	91.0	89.8	90.4	90.7	90.6	90.7	90.4	91.4	91.6	91.7	91.4	91.9	年度	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	貼付率 (%)	60	80	83	83	85	86	91.9	92.1	91.6	90.5	90.8	90.7	90.8	90.3	91.2	91.4	91.6	91.5	92.1
年度	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23																																																														
比率 (%)	70	71	87	87	89	91	90.7	91.0	89.8	90.4	90.7	90.6	90.7	90.4	91.4	91.6	91.7	91.4	91.9																																																														
年度	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23																																																														
貼付率 (%)	60	80	83	83	85	86	91.9	92.1	91.6	90.5	90.8	90.7	90.8	90.3	91.2	91.4	91.6	91.5	92.1																																																														
<p>(3) 解体マニュアル作成 目標：主要3機種をカバー</p>	<p>① 解体事業者等から要望のあった、主要3機種(レントゲン車、冷蔵・冷凍バン、タンクローリ)の解体マニュアル対応完了 (特装車製品など作成) ② 車工会会員各社の即時開示やホームページで公開 累計498件 ③ 解体事業者団体と連携、解体作業見学会を通じて得た作業実態をマニュアルへ反映 (解体マニュアル件数(件))</p>  <table border="1"> <caption>解体マニュアル件数 (件)</caption> <tr><th>年度</th><td>'03</td><td>'04</td><td>'05</td><td>'06</td><td>'07</td><td>'08</td><td>'09</td><td>'10</td><td>'11</td><td>'12</td><td>'13</td><td>'14</td><td>'15</td><td>'16</td><td>'17</td><td>'18</td><td>'19</td><td>'20</td><td>'21</td><td>'22</td><td>'23</td></tr> <tr><th>件数</th><td>25</td><td>116</td><td>132</td><td>143</td><td>161</td><td>165</td><td>174</td><td>182</td><td>234</td><td>281</td><td>290</td><td>312</td><td>343</td><td>359</td><td>377</td><td>386</td><td>403</td><td>409</td><td>443</td><td>483</td><td>498</td></tr> </table>	年度	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	件数	25	116	132	143	161	165	174	182	234	281	290	312	343	359	377	386	403	409	443	483	498																																				
年度	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23																																																												
件数	25	116	132	143	161	165	174	182	234	281	290	312	343	359	377	386	403	409	443	483	498																																																												

自主取組みの内容	進捗状況
<p>「冷蔵・冷凍バン解体マニュアルの例」</p> 	<p>解体作業手順 記載例</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 冷凍機・架装・艀装部品の取り外し ※冷凍機の取り外しについては、ポンガスの回収が義務付けられているためポン取り扱いの資格者、専門業者が実施のこと ② 電装品の取り外し ※バッテリー電源取り外し、分別処理 ③ リアドア・リア枠の取り外し ④ サイドドア・サイド枠の取り外し ⑤ ルーフパネルの取り外し ※断熱材の分別処理 ⑥ サイドパネルの取り外し ※断熱材の分別処理 ⑦ フロントパネルの取り外し ⑧ 床部材の取り外しと分解 ※各部材の分解、分別処理 
<p>2. 重金属4物質の使用削減</p> <p>(1)鉛 目標：使用量 2002年度60g/台 →2006年度30g/台に半減</p> <p>(2)水銀 目標：2005年1月以降使用禁止 (照明装置等を除く)</p> <p>(3)六価クロム 目標：2008年1月以降使用禁止</p> <p>(4)カドミウム 目標：2007年1月以降使用禁止</p>	<p>鉛：2005年度より目標達成を継続 ・目標達成の事例 ダンプ、タンクローリ等の電着塗料への切替</p> <p>水銀：2004年末より目標達成を継続 ・フリー化の事例 高所作業車の水平保持用のスイッチ</p> <p>六価クロム：2007年末より目標達成を継続 ・フリー化の事例 金具類（例：蝶番、ボルト、ナット、油圧ホースガードワイヤ）</p> <p>カドミウム：2006年末より目標達成を継続 ・フリー化の事例 マーカーランプ、タンクローリ自動開閉装置の温度ヒューズ</p>
<p>3. リサイクル・適正処理の推進</p> <p>(1)協力事業者制度の構築と拡充</p> <p>目標：制度への登録拡充と各ブロックへの適正配置</p> <p>車工会ホームページ掲載</p> 	<p>① 協力事業者について、全国各ブロックへの適正配置を継続</p> <p>② 解体事業者の要望をふまえて、丸ごと処理事業者ならびにタンクローリ残液の分析・処理・洗浄事業者も維持。2020年度からLiB情報も追加調査</p> <p>〈協力事業者制度参加数〉</p>  <p>発足 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16 '17 '18 '19 '20 '21 '22 '23 年度</p>
<p>4. 情報提供、啓発活動の推進</p>	<p>① 協力事業者情報をメンテナンスし車工会HPへ掲載、2021年4月から下記追加 ・LiB情報を追加掲載 ・事業者情報一覧表リストをHPからダウンロード可能とし利便性向上</p> <p>② 解体事業者への情報提供 商用車架装物処理に関し、解体事業者団体等と作業現場の見学会・意見交換を継続。2023年度はバキュームカー解体作業見学会を実施 ※2024年度についても実施予定</p>